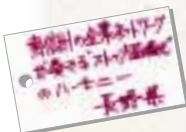


取り組み名 地域ぐるみの温暖化防止一斉行動

7,000人×家族が、エコでひとつに。

29事業所7,000人の従業員が一斉エコ行動。
減らしたCO₂、40t!



地域ぐるみ環境ISO研究会は、地域の自然を残し、持続可能な地域づくりを行うため、新しい環境文化創造を目的に発足した事業所のネットワーク。南信州の事業所29カ所、従業員数約7,000人が加入しています。京都議定書の発効した2月16日や、環境の日の6月5日など温暖化防止などに関わる記念日に、南信州域内の事業所全体に参加を呼びかけ、「ノーマイカー通勤」や夜10時以降のライトダウンのほか、事業所ごとの温暖化防止に向けた行動に取り組んでいます。CO₂削減量も算出して参加事業所や市民に成果を報告しています。

団体名:地域ぐるみ環境ISO研究会
所在地:長野県飯田市
ウェブサイト:<http://www.city.iida.nagano.jp/kankyo/iso/>

都道府県大会の名称

信州減CO₂(ゲンコツ)づくりコンテスト2007
～温暖化対策「一村一品・知恵の環づくり」事業～

「地域ぐるみ環境講座」では、高校生が地元の食品会社を訪問し、環境負荷削減の取り組みを聞いた。



市民を対象に、生活と環境をテーマにしたイベントを開催し、クラフト細工を実施。

取り組み名 「交通ゲーム」による環境啓発

ゲームで、なるほど! エコな交通。

環境にやさしい交通って?
ゲームで楽しみながら、学びます。



(社)日本技術士会中部支部・中部青年技術士会・持続可能な交通を考えるワーキンググループ(TMO)は、企業の枠を超えた技術者ネットワークというユニークな場を通じて、ゲームを使って「環境にやさしい交通選択」の方法を市民に伝え、温暖化防止活動への参加を呼びかけています。ゲームを通じて考えることにより、市民が交通手段を選ぶ際に、環境を配慮した選択を行うことが期待されます。開発した交通ゲームのマニュアルやノウハウは全て公開し、無償で配布しています。

団体名:(社)日本技術士会・中部支部・中部青年技術士会・
持続可能な交通を考えるワーキンググループ(TMO)
所在地:愛知県
ウェブサイト:http://www.geocities.jp/wg_tmo_wg/

都道府県大会の名称

ストップおんだんか! 愛・知恵の環コンテスト

展示会にも積極的に参加し、「渋滞すごろく」「CO₂神経衰弱」「交通しりとり」「交通占い」などのゲームを提供。



「渋滞すごろく」。電車がクルマかという交通手段を選択し、目的地までどちらが早く到着できるかを競う。

